

第四十一回 高岡薪能

とき 令和七年六月二十二日(日)

第一部 ◆午後二時始

薪能 ◆午後五時四十五分始

ところ 富山県高岡文化ホール

◆ 舞囃子

天鼓 金森 秀祥

◆ 仕舞

松 風 大坪喜美雄

鶉ノ段 佐野 由於

◆ 狂言

因幡堂

能村 晶人

◆ 能

熊坂

金井 雄資



【主催】高岡能楽会

〈共催〉高岡市
高岡市教育委員会
北日本新聞社
富山テレビ放送株式会社

〈後援〉富山県

砺波市教育委員会
南砺市教育委員会
氷見市教育委員会
射水市教育委員会
小矢部市教育委員会

入場券 前売り 2,000円

(当日 2,500円)

小・中・高校生および 同伴者 無料

高岡能楽会ホームページ

★写真提供 公益社団法人宝生会

お問い合わせ：高岡能楽会 TEL 090-8702-7435

第二部 新能番組（午後五時四十五分始）

◇新能開会式

◇解説

◇舞囃子

天鼓

◇仕舞

金森 秀祥
飯嶋六之佐
住駒 幸英
瀬賀 尚義

館 聖
渡辺 茂人
山崎 健
米島 和秋

松風

大坪喜美雄

鶉ノ段

佐野 由於

◇狂言

因幡堂

シテ 能村晶人
後見 中尾史生

アド 炭光太郎
小アド 清水 宗治

水口 純治
金森 秀祥
金森 良充
寺田 茂

◇火入れの儀（午後七時ごろ）

◇能

シテ 金井雄資

熊坂

ワキ 平木豊男

飯嶋六之佐
住駒 幸英
瀬賀 尚義

米島 和秋
寺田 茂
水口 純治
館 聖

金森 秀祥
大坪喜美雄
佐野 由於
山崎 健

間 中尾史生

後見 渡邊茂人

金森良充

【あらすじ】

能 熊坂（くまさか）

旅の僧が美濃国赤坂で土地の僧に声を掛けられます。

男は実は盗賊の頭領・熊坂長範の亡霊であることを明かし、姿を消します。やがて薙刀をかついで現れた亡霊は、生前牛若に討ちとられたときの有様を生々しく物語り、再現します。

草庵で向き合う二人の僧の静かな前場と、熊坂が薙刀を持つて舞う後場の鮮やかな対比が見所です。

【あらすじ】

狂言 因幡堂（いなばどう）

大酒呑みの妻を持つ男が、妻の留守中に離縁状を送りつけ、新妻を得るために因幡堂の薬師へ妻乞いにやってきます。

薬師のお告げを夢見に聞いた男は、早速その出会いの場所へ行くと、そこには女性が一人立っていたので、自宅へつれてゆき婚礼の杯を交わすが、女の被衣を取るとその女は離縁した筈の妻でした。

夫の狼狽する様が見所です。

高岡文化ホール会場案内図

